



しんろだより

7月10日 Vol 4
県立米子養護学校
進路指導部 発行

『18歳で自立できる人間を育てる』

高等部 前期現場実習、目標を持ってやり切りました！

高等部では6月6日（木）から19日（水）までの10日間、1年生は校内実習、2、3年生は現場実習を行いました。1年生は初めての实習のため、「働く上で基本的な力をつける」ことをねらいに取り組みました。毎日作業を続けることは大変でしたが、働く意識や挨拶、返事、姿勢の大切さに気づくことができました。

2年生は、学校を離れ、慣れない環境の中で働くことを通して、「自分の良さや課題、適性を見つけること」をねらいに実習をしました。作業だけでなく通勤や休憩時間の過ごし方など、事業所での生活全般を振り返り、担任と今後の課題や目標についても確認しました。

3年生は、2学期には卒業後の進路先を決定します。今回は、進路決定に関わる重要な実習です。卒業後の生活をイメージしながら実習に臨みました。実習後は、良かったことや課題を振り返りながら、卒業後の利用先を絞っていきます。そして、後期の実習後、進路先を決定することになります。

保護者の方には1年生のときから実習の様子を見学していただき、課題を共有することで、卒業後の生活につなげていきたいと考えています。1学期末の懇談では、実習で見えてきた良さや課題について話し合い、家庭と協力してよりよい卒業後の進路の選択ができるよう取り組んでいきたいと思えます。



校内実習【そばのかご詰め】



企業【清掃作業】



就労継続支援A型事業所【お弁当の配食作業】



就労継続支援B型事業所【青汁の箱詰め】



就労継続支援B型事業所【農作業】



生活介護【余暇活動】

実習での生徒の成長・頑張り（一例）

- 公共交通機関を使って、初めて一人で通勤することができた。
- 作業はゆっくりだが、時間いっぱい仕事をする事ができた。
- 自分から元気なあいさつをすることができた。
- 昼休憩自分からゲームに誘ったり、話をしたりした。
- 作業の待ちの時間でも、担当している部品や機械に異常がないか様子を見て回っていた。
- ミスがあったときに、すぐに報告をすることができた。
- 目を見て、話を聞くことができた。

課題（一例）

- あいさつや返事、報告の音が小さい。
- 体調不良を自分から伝えられない。
- 周りが気になり仕事に集中できない。
- 目上の方に敬語が使えない。
- 作業時間にトイレに行く。